

7 監 査 第 4 6 号

令和7年8月27日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員職務執行者 鈴 木 修 一

京丹後市監査委員 多 賀 野 一 彦

令和6年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和6年度京丹後市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計）の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和 6 年 度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市下水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
【水道事業会計】		3
1	事業の概況	5
2	予算執行状況（税込）	5
(1)	収益的収入及び支出	5
(2)	資本的収入及び支出	5
3	経営成績（税抜）	6
4	財政状態（税抜）	6
5	むすび	7
	決算審査資料	9
【下水道事業会計】		19
1	事業の概況	21
2	予算執行状況（税込）	21
(1)	収益的収入及び支出	21
(2)	資本的収入及び支出	21
3	経営成績（税抜）	22
4	財政状態（税抜）	23
5	むすび	24
	決算審査資料	25
【病院事業会計】		35
1	事業の概況	37
(1)	入院患者の状況	37
(2)	外来患者の状況	37
(3)	訪問看護事業の状況	38
(4)	通所リハビリテーション事業の状況	38
2	予算執行状況（税込）	38
(1)	収益的収入及び支出	38
(2)	資本的収入及び支出	38
3	経営成績（税抜）	39
4	財政状態（税抜）	40
5	むすび	41
	決算審査資料	43

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和6年度京丹後市水道事業会計決算
令和6年度京丹後市下水道事業会計決算
令和6年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和7年7月1日から令和7年8月22日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

京丹後市水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

令和6年度末現在の給水人口は、46,426人で前年度に比べて906人減少したが、給水件数は24,291件で、前年度に比べて7件増加となっている。

年間総有収水量は、5,556,858 m³で前年度に比べて、54,679 m³減少し、年間総配水量は6,811,979 m³で前年度に比べて、34,823 m³の減少となっている。

有効率は83.77%で対前年度比0.39ポイントの減少、有収率は81.57%で対前年度比0.39ポイントの減少となっている。

給水人口が年々減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していく必要がある。

管路の状況は、管路総延長795.64kmのうち、石綿管は4.26km(0.5%)と前年度より0.16kmの改善が図られているが、有収率の向上を図る上からも、引き続き老朽管の布設替等が必要である。早急かつ効率的に更新を進められたい。

2 予算執行状況(税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表2のとおりである。

収益的収入である水道事業収益は、予算額16億2,552万1千円に対して決算額16億8,908万円で、収入率は103.9%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金などで予算額を上回ったことによるものである。

収益的支出である水道事業費用は、予算額18億2,117万7千円に対して決算額17億1,283万3千円で、執行率は94.0%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費4,896万円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表3のとおりである。

資本的収入は、予算額29億9,289万9千円に対して決算額17億6,764万7千円で、収入率は59.0%である。これは、予算額に対して企業債が8億1,880万円、他会計出資金が4億950万円下回ったことによるものである。

資本的支出は、予算額34億6,785万3千円に対して決算額22億1,468万5千円で、11億2,465万4千円を翌年度に繰り越し、執行率は63.8%となった。主な不用額は、施設改良事業費6,642万4千円、中野水系配水池更新整備事業費**5,681万2千円**である。翌年度繰越分の内訳は、施設改良事業費2億4,703万円、中野水系配水池更新整備事業費8億7,762万4千円である。

施設整備については、安全で安心な水道水の安定供給を図るために、下水道工事及び道路改良工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施されている。新配水池施設整備では、中野水系配水池更新整備として、配水池築造工事を実施し、併せて中野浄水場から新配水池への送配水管の布設が一部区間で実施された。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億4,703万8千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億3,239万円、過年度分損益勘定留保資金3億1,464万8千円で補てんしている。

3 経営成績(税抜)

損益計算書による経営成績は、別表4のとおりである。

総収益15億709万6千円に対して総費用は16億6,632万4千円で、差し引き1億5,922万8千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金5億7,368万円を加え、当年度未処理欠損金は7億3,290万8千円と増加した(別表9参照)。

総収益は、営業収益の給水収益(水道料金)が5,376万8千円、営業外収益の府補助金が443万2千円、長期前受金戻入が352万1千円減少したが、特別利益が1億9,566万7千円となったことにより、前年度に比べて1億5,973万7千円(11.9%)の増加となった。

総費用は、前年度に比べて1億4,573万7千円(9.6%)の増加となった。

営業費用では、減価償却費が7,241万8千円、原水及び浄水費が2,154万2千円増加し、配水及び給水費が375万円、資産減耗費が79万7千円、業務費が73万2千円、総係費が64万3千円減少している。

有収水量1^m3当たりの供給単価は179円58銭で対前年度比7円83銭減少し、給水原価は244円23銭で対前年度比17円76銭増加している。その結果、有収水量1^m3当たりの赤字額は前年度に比べて25円59銭増加し、64円65銭となった。供給単価の減少は、物価高騰対策による基本料金免除の影響が大きく、また給水原課の増加は、給水人口の減少、電気、動力費また原材料単価の高騰が大きいと考えられる(別表1参照)。

また、総収支比率は、別表5のとおり90.4%と15年連続して純損失を生じており、経常収支比率も87.0%で14年連続の単年度赤字となった。

4 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、別表6～9のとおりである。

資産の総額は188億2,770万円で、前年度に比べて9億606万3千円(5.1%)増加している。固定資産は、建設仮勘定が10億4,379万9千円増加した一方で、構築物が2億1,696万2千円、機械及び装置が1億7,106万円、建物が5,049万

4 千円減少した。流動資産は、前払金が 9,741 万 5 千円減少した一方で、現金預金が 3 億 5,124 万 7 千円、未収金が 5,466 万 7 千円増加した。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、別表 10 のとおりである。

未収金の総額は 1 億 7,540 万 9 千円で、前年度に比べて 145 万 8 千円減少しているが、件数は 146 件増加している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、95 件、41 万 1 千円が不納欠損として処分されている。

負債の総額は 129 億 709 万円で、前年度に比べて 2 億 4,034 万 9 千円増加した。固定負債の増加は、企業債 2 億 6,480 万円によるもので、流動負債では、企業債 1 億 1,308 万 9 千円、前受金 6,760 万円が減少したものの、未払金 1 億 3,055 万 8 千円などが増加した。

資本の総額は 59 億 2,061 万円で、前年度に比べて 6 億 6,571 万 4 千円 (12.7%) 増加している。資本の増加は、利益剰余金が 1 億 5,922 万 8 千円減少したものの、自己資本金が 8 億 2,494 万 1 千円増加したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書 P29,P36 参照)

(単位:千円)

令和5年度 末残高	令和6年度		令和6年度 末残高	令和6年度 支払利息
	発行額	償還額		
8,967,767	859,600	707,889	9,119,478	110,812

企業債残高は 91 億 1,947 万 8 千円で、前年度に比べ 1 億 5,171 万 1 千円 (1.7%) 増加した。企業債利息は 1 億 1,081 万 2 千円で、営業収益(税抜)10 億 2,073 万円に占める割合は 10.9%と、前年度と変動はない。(別表4参照)

5 むすび

水道事業会計の経営成績(税抜き)は、事業収益 15 億 709 万 6 千円に対して事業費用は 16 億 6,632 万 4 千円、差し引き 1 億 5,922 万 8 千円事業費用が上回り、15 年連続の当年度純損失となった。また、経常収支についても 14 年連続の赤字である。従来からの赤字経営体質に加え、令和元年度に行った簡易水道事業の統合によって多くの施設を抱え、より一層厳しい経営状況となっている。

収益面では、少子高齢化及び人口減少による給水人口の減少、節水型家電製品の普及、節水意識の向上などによって水需要の増加が見込めない状況にあり、収益の安定した確保が懸念される。

費用面では、原材料単価の高騰などによる影響が大きく、また老朽管の布設替工事や簡易水道事業の統合により、小規模水道施設が点在するなど、今後も多額の設

備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。給水原価や有収率などを地区単位で分析することによって、給水人口及び水需要に応じた施設の統廃合や給水エリアの変更が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、不測の事態が生じても将来にわたって水道事業の健全な運営が確保できるよう備える必要があり、維持管理経費等の更なる削減を図るなど一層の努力が望まれる。水道施設は 263 ヶ所あり、持続可能な水道事業の実施に向けた、施設の統廃合等を考えていくことが必要である。

水道料金の未収金については、令和6年度末の未収金額は 1 億 7,540 万 9 千円であった。未収金対策として、給水停止予告通知をすることで未納者との接点を持ち、納付交渉につなげている。

徴収の見込めない不良債権については、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理の努力が見られるが、依然として多額の未収金を抱えている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も引き続き滞納者に対する継続的な働きかけや、給水停止等の措置を行うなど、回収に向けた積極的な対応を求めるものである。

また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するとともに、口座振替利用推進等により収納率向上を図るなどの対策を講じる必要がある。

水道事業は、市民生活や経済活動に不可欠なものである。近年多発する自然災害などへの危機管理、対応は重要な課題であり、限られた職員数で緊急事態にも迅速に対応できる体制づくりにも取り組む必要がある。このためには、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められ、より安全で良質な水道水が安定的に市民に供給されるよう期待するものである。

決 算 審 査 資 料

(水 道 事 業 会 計)

決算審査資料（水道事業会計）

別表 1	水道事業の概要	11
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	12
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	13
別表 4	損益計算書（税抜）	14
別表 5	経営の安定度に関する指標	15
別表 6	資産	16
別表 7	負債	16
別表 8	資本金	17
別表 9	剰余金	17
別表 10	水道料金未収金及び不納欠損額（税込）	18

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1

水道事業の概要

項 目 \ 年 度	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給 水 件 数 (件)	24,291	24,284	7	0.0%
給 水 人 口 (人)	46,426	47,332	△ 906	△ 1.9%
配 水 量				
年間総配水量 (m³)	6,811,979	6,846,802	△ 34,823	△ 0.5%
一日最大配水量 (m³)	22,684	22,729	△ 45	△ 0.2%
一日最小配水量 (m³)	16,856	16,833	23	0.1%
一日平均配水量 (m³)	18,662	18,707	△ 45	△ 0.2%
有 収 水 量				
年間総有収水量 (m³)	5,556,858	5,611,537	△ 54,679	△ 1.0%
有 効 率 (%)	83.77	84.16	△ 0.39	—
有 収 率 (%)	81.57	81.96	△ 0.39	—
供 給 単 価	179円58銭	187円41銭	△ 7円83銭	—
給 水 原 価	244円23銭	226円47銭	17円76銭	—
資 本 費	122円52銭	108円83銭	13円69銭	—
管 路 総 延 長 (km)	795.64	795.49	0.15	0.0%
石 綿 管 総 延 長 (km)	4.26	4.42	△ 0.16	△ 3.6%
石 綿 管 布 設 率 (%)	0.5	0.6	△ 0.1	—

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有 効 率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有 収 率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・供給単価 $\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³当たり、どれだけの収益を得ているかを示す指標
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標
- ・資 本 費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表 2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（１）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
水道事業収益	1,625,521	1,689,080	63,559	103.9
営業収益	1,099,178	1,120,492	21,314	101.9
給水収益	1,076,223	1,097,377	21,154	101.9
その他営業収益	22,955	23,115	160	100.6
営業外収益	330,679	372,921	42,242	112.7
受取利息及び配当金	6	493	487	8,216.6
他会計補助金	138,650	138,650	0	100.0
長期前受金戻入	147,970	149,893	1,923	101.2
雑収益	1,053	1,804	751	171.3
消費税及び地方消費税還付金	43,000	82,081	39,081	190.8
特別利益	195,664	195,667	3	100.0
その他特別利益	195,664	195,667	3	100.0

（２）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執行率 ②／①
水道事業費用	1,821,177	1,712,834	108,343	94.0
営業費用	1,529,729	1,438,892	90,837	94.0
原水及び浄水費	500,376	451,416	48,960	90.2
配水及び給水費	139,347	131,456	7,891	94.3
業務費	102,082	76,015	26,067	74.4
総係費	45,528	40,865	4,663	89.7
減価償却費	721,401	719,893	1,508	99.7
資産減耗費	20,995	19,248	1,747	91.6
営業外費用	119,580	112,076	7,504	93.7
支払利息及び企業債取扱諸費	118,313	110,812	7,501	93.6
雑支出	1,267	1,264	3	99.7
特別損失	161,868	161,865	3	99.9
その他特別損失	155,529	155,527	2	99.9
減損損失	6,339	6,338	1	99.9
予備費	10,000	0	10,000	0.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0

別表 3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

（１）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
資本の収入	2,992,899	㉞ 1,767,647	△ 1,225,252	59.0
加入金	11,017	12,652	1,635	114.8
加入金	11,017	12,652	1,635	114.8
企業債	1,678,400	859,600	△ 818,800	51.2
企業債	1,678,400	859,600	△ 818,800	51.2
出資金	1,234,441	824,941	△ 409,500	66.8
他会計出資金	1,234,441	824,941	△ 409,500	66.8
補償金	69,041	69,041	0	100.0
補償金	69,041	69,041	0	100.0
負担金	0	1,412	1,412	－
負担金	0	1,412	1,412	－

（２）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①－②－③	執行率 ②／①
資本の支出	3,467,853	㉞ 2,214,685	1,124,654	128,514	63.8
建設改良費	2,759,962	1,506,796	1,124,654	128,512	54.5
固定資産取得費	41,598	36,322	0	5,276	87.3
施設改良事業費	635,769	322,315	247,030	66,424	50.6
中野水系配水池更新整備事業費	2,082,595	1,148,159	877,624	56,812	55.1
企業債償還金	707,891	707,889	0	2	99.9
企業債償還金	707,891	707,889	0	2	99.9

（３）資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 ㉞－㉞	△ 447,038	
補填財源	447,038	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	132,390	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	314,648	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表 4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和6年度 ①	令和5年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率(③/②*100)
水道事業収益 (A)	1,507,096	1,347,359	159,737	11.9
営業収益 (C)	1,020,730	1,074,383	△ 53,653	△ 5.0
給水収益	997,871	1,051,639	△ 53,768	△ 5.1
その他営業収益	22,858	22,744	114	0.5
営業外収益	290,699	272,573	18,126	6.6
受取利息	493	10	483	4,830.0
府補助金	0	4,432	△ 4,432	△ 100.0
他会計補助金	138,650	113,093	25,557	22.6
長期前受金戻入	149,893	153,414	△ 3,521	△ 2.3
雑収益	1,663	1,624	39	2.4
特別利益	195,667	403	195,264	48,452.6
その他特別利益	195,667	403	195,264	48,452.6
水道事業費用 (B)	1,666,324	1,520,587	145,737	9.6
営業費用	1,395,038	1,307,000	88,038	6.7
原水及び浄水費	417,570	396,028	21,542	5.4
配水及び給水費	127,481	131,231	△ 3,750	△ 2.9
業務費	71,000	71,732	△ 732	△ 1.0
総係費	39,846	40,489	△ 643	△ 1.6
減価償却費	719,893	647,475	72,418	11.2
資産減耗費	19,248	20,045	△ 797	△ 4.0
営業外費用	112,012	117,261	△ 5,249	△ 4.5
支払利息 (D)	110,812	116,641	△ 5,829	△ 5.0
雑支出	1,200	620	580	93.5
特別損失	159,274	96,326	62,948	65.3
その他特別損失	152,936	96,326	56,610	58.8
減損損失	6,338	0	6,338	皆増
当年度純損益 (A)-(B)	△ 159,228	△ 173,228	14,000	8.1
総収支比率 (A)/(B)	90.4	88.6	1.8	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	10.9	10.9	0.0	

別表 5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

年度 項目		令和6年度	令和5年度	令和4年度	備 考
総収支比率		90.4	88.6	91.9	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。 この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
	類似団体全国 平均値	—	106.9	107.9	
経常収支比率		87.0	94.6	91.9	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。 100%を超える場合は単年度黒字を、 100%未満は単年度赤字を表す。
	類似団体全国 平均値	—	107.8	108.0	
営業収支比率		73.2	82.2	80.0	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。 100%未満の場合は健全経営とはいえない。
	類似団体全国 平均値	—	87.7	86.8	

別表 6

水 道 事 業 資 産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	540,042	540,042	0	0.0
	建 物	965,280	1,015,774	△ 50,494	△ 5.0
	構 築 物	11,953,593	12,170,555	△ 216,962	△ 1.8
	機 械 及 び 装 置	2,094,803	2,265,863	△ 171,060	△ 7.5
	車 両 運 搬 具	1,724	2,105	△ 381	△ 18.1
	工具器具及び備品	26,064	34,394	△ 8,330	△ 24.2
	建 設 仮 勘 定	1,306,412	262,613	1,043,799	397.5
	小 計	16,887,917	16,291,346	596,571	3.7
流動資産	現 金 預 金	1,562,746	1,211,499	351,247	29.0
	未 収 金	260,544	205,877	54,667	26.6
	貸 倒 引 当 金	△ 32,796	△ 32,789	△ 7	0.0
	貯 蔵 品	11,537	10,537	1,000	9.5
	前 払 金	137,752	235,167	△ 97,415	△ 41.4
	その他流動資産	0	0	0	0.0
	小 計	1,939,783	1,630,291	309,492	19.0
合 計		18,827,700	17,921,637	906,063	5.1

別表 7

水 道 事 業 負 債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	8,524,678	8,259,878	264,800	3.2
	引 当 金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	0.0
	小 計	8,550,122	8,285,322	264,800	3.2
流動負債	一 時 借 入 金	0	0	0	0.0
	企 業 債	594,800	707,889	△ 113,089	△ 16.0
	未 払 金	480,449	349,891	130,558	37.3
	前 受 金	39,900	107,500	△ 67,600	△ 62.9
	引 当 金	13,402	12,933	469	3.6
	その他流動負債	77,275	3,691	73,584	1,993.6
	小 計	1,205,825	1,181,904	23,921	2.0
繰延収益	長 期 前 受 金	4,871,076	4,726,078	144,998	3.1
	収益化累計額	△ 1,719,933	△ 1,526,563	△ 193,370	12.7
	小 計	3,151,143	3,199,515	△ 48,372	△ 1.5
合 計 (ア)		12,907,090	12,666,741	240,349	1.9

別表 8 水 道 事 業 資 本 金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	6,156,316	5,331,375	824,941	15.5
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		6,156,316	5,331,375	824,941	15.5

別表 9 水 道 事 業 剰 余 金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	1,972	1,972	0	0.0
	加 入 金	17,883	17,883	0	0.0
	補 助 金	67,948	67,948	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	239,589	239,589	0	0.0
	寄 附 金	3,243	3,243	0	0.0
	工 事 負 担 金	35,638	35,638	0	0.0
	補 償 金	—	—	—	—
	小 計	366,273	366,273	0	0.0
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	3,600	3,600	0	0.0
	建 設 改 良 積 立 金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	△ 732,908	△ 573,680	△ 159,228	△ 27.8
	(うち当年度純損益)	(△ 159,228)	(△ 173,228)	(14,000)	(8.1)
	小 計	△ 601,979	△ 442,752	△ 159,227	△ 36.0
合 計 (ウ)		△ 235,707	△ 76,479	△ 159,228	△ 208.2

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	5,920,610	5,254,896	665,714	12.7
負 債 資 本 合 計 (ア)+(イ)+(ウ)	18,827,700	17,921,637	906,063	5.1

別表 10 水道料金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	水 道 料 金 未 収 金				不 納 欠 損			
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和6年度	26,567	100,310,123			6	21,568		
令和5年度	1,197	7,236,744	26,552	104,499,130	8	30,998	0	0
令和4年度	1,248	4,581,408	1,407	5,208,438	10	43,226	0	0
令和3年度	1,440	5,631,566	1,572	6,176,120	41	194,836	0	0
令和2年度	917	3,729,690	986	4,040,708	14	62,612	6	44,652
令和元年度	807	3,365,929	851	3,510,266	3	10,119	6	50,644
平成30年度	743	3,877,858	781	3,965,308	7	22,225	6	49,674
平成29年度	668	2,413,740	685	2,494,899	2	7,222	6	34,648
平成28年度	597	2,142,934	639	2,524,341	2	8,872	11	51,641
平成27年度	615	2,571,611	641	2,650,521	2	9,226	12	61,643
平成26年度	653	2,625,946	678	2,764,055	0	0	12	59,743
平成25年度	700	2,783,635	724	2,876,474	0	0	10	49,850
平成24年度	947	3,653,046	1,008	3,895,909	0	0	12	71,650
平成23年度	944	3,430,831	993	3,576,326	0	0	10	64,040
平成22年度	1,274	4,555,966	1,320	4,741,086	0	0	12	87,080
平成21年度	1,061	3,650,698	1,137	4,013,370	0	0	12	84,060
平成20年度	746	2,482,593	807	2,790,213	0	0	12	65,510
平成19年度	601	2,431,646	639	2,600,664	0	0	12	64,030
平成18年度	568	2,079,099	601	2,176,041	0	0	12	70,880
平成17年度	396	1,644,101	416	1,736,914	0	0	3	17,470
平成16年度	271	1,039,365	302	1,166,470	0	0	10	109,210
平成15年度	407	2,050,565	430	2,129,203	0	0	9	82,300
平成14年度	393	1,791,234	413	1,864,904	0	0	6	84,050
平成13年度	335	1,228,156	359	1,321,585	0	0	2	29,131
平成12年度	244	955,898	250	986,487	0	0	0	0
平成11年度	200	811,184	202	824,799	0	0	0	0
平成10年度	126	548,853	126	548,853	0	0	0	0
平成9年度	148	622,275	148	622,275	0	0	0	0
平成8年度	106	470,655	106	470,655	0	0	0	0
平成7年度	71	365,740	71	365,940	0	0	0	0
平成6年度	55	179,946	55	179,946	0	0	0	0
平成5年度	28	146,300	28	146,300	0	0	0	0
合 計	45,073	175,409,335	44,927	176,868,200	95	410,904	181	1,231,906

京丹後市下水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

事業の実績を前年度と比べると、処理区域内人口は 39,462 人で 108 人(0.3%)減少し、水洗化人口は 28,614 人で 152 人(0.5%)増加した。

排水処理水量については、3,365,826 m³で、前年度と比べて 47,990 m³(1.4%)の増加となっている。

新規接続件数の状況は、次のとおりである。

(単位:件)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
新規接続件数	278	327	320
公共下水道	188	214	208
特定環境保全公共下水道	47	41	46
農業集落排水処理施設	7	17	15
漁業集落排水処理施設	0	1	0
浄化槽整備	36	54	51

新規接続件数は 278 件で、前年度と比較すると 49 件の減少であった。排水処理水量については、水洗化人口の増加と合わせて、前年度に比べ微増となった。

2 予算執行状況(税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表 12 のとおりである。

収益的収入である下水道事業収益は、予算額 24 億 5,820 万 9 千円に対して決算額 24 億 4,331 万 5 千円で、収入率は 99.3%となっている。

収益的支出である下水道事業費用は、予算額 27 億 2,295 万 6 千円に対して決算額 25 億 9,930 万 5 千円で、執行率は 95.4%である。不用額の主なものは、営業費用で処理場費 3,875 万 8 千円、管渠費 1,609 万 2 千円、浄化槽費 1,168 万円など、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費 624 万 3 千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表 13 のとおりである。

資本的収入は、予算額 39 億 729 万 6 千円に対して決算額 26 億 6,703 万 8 千円で、収入率は 68.2%である。主な要因は、予算額に対して企業債が 9 億 960 万円、補助金が 3 億 905 万 5 千円下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算額 45 億 1,575 万 6 千円に対して決算額 32 億 5,275 万 3 千円で、9 億 1,889 万 4 千円を翌年度に繰り越し、執行率は 72.0%となった。主な不用額は、管渠整備事業費 2 億 6,767 万 4 千円、管渠改良事業費 2,578 万 7 千円、浄化槽整備事業費 1,847 万 6 千円、処理場改良事業費 1,471 万 6 千円などである。翌年度繰越分の内訳は、管渠整備事業費、ポンプ場改良事業費、処理場改良事業費、雨水施設改良事業費である。

施設整備の状況については、快適な生活環境及び公共用水域の水質を保全するため、管渠及び浄化槽の整備事業を行い、下水道施設の長寿命化のための改良事業などが計画的に実施されている。また、令和 6 年度から雨水事業が一般会計から下水道事業会計に移管され事業を行っている。引き続き早期の概成を目指して、的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 5 億 8,571 万 5 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,654 万 4 千円、引継金 472 万 3 千円、過年度分損益勘定留保資金 3 億 7,084 万 8 千円、当年度分損益勘定留保資金 1 億 2,360 万円で補てんしている。

3 経営成績(税抜)

損益計算書による経営成績は、別表 14 のとおりである。

総収益 22 億 8,762 万 2 千円に対して総費用は 25 億 2,936 万円で、差し引き 2 億 4,173 万 8 千円の純損失となっており、当年度未処理欠損金は 34 億 3,214 万 1 千円となった(別表 19 参照)。

総収益の主なものは、営業収益の下水道使用料が 5 億 2,428 万 7 千円、営業外収益の他会計補助金が 9 億 5,431 万 4 千円、長期前受金戻入が 7 億 7,998 万 4 千円であった。

総費用の主なものは、営業費用の処理場費が 4 億 640 万 8 千円、浄化槽費が 1 億 5,495 万 1 千円、減価償却費が 13 億 9,508 万 8 千円、営業外費用では企業債支払利息が 2 億 8,974 万 3 千円であった。今後もインフラの整備が進み、多額の設備整備に伴う施設の管理費用などが必要になる。

有収水量 1 m³当たりの使用料単価は 146 円で対前年度比 0 円 50 銭の減少、処理原価は 261 円 50 銭で対前年度比 5 円 60 銭増加した。その結果、有収水量 1 m³当たりの赤字額は 115 円 50 銭となった(別表 11 参照)。

また、総収支比率は、別表 15 のとおり 90.4%、経常収支比率は 90.4%となった。

4 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、別表 16～19 のとおりである。

資産の総額は 435 億 5,184 万 2 千円で、前年度に比べて 29 億 6,408 万 6 千円 (7.3%) の増加である。固定資産は前年度に比べて 26 億 2,936 万 7 千円 の増加で、その内訳は構築物が 16 億 8,948 万 7 千円、機械及び装置が 7 億 8,007 万 6 千円、建物 が 9,119 万 3 千円の増加となっている。流動資産は前年度に比べて 3 億 3,471 万 9 千円の増加で、その内訳は、現金預金が 2 億 4,914 万 1 千円、前払金が 6,594 万 7 千円、未収金が 1,922 万 6 千円の増加などとなっている。

下水道使用料及び受益者分担金の未収金の状況は、別表 20、別表 21 のとおりである。下水道使用料の未収金総額は 16,797 件、6,379 万 6 千円で、前年度と比べて件数は 404 件増加しているが、金額は 37 万 8 千円減少した。受益者分担金については 80 件、439 万 8 千円で、前年度に比べて件数は 21 件、金額は 84 万 6 千円減少している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、下水道使用料は 54 件、12 万 3 千円、受益者分担金については 1 件、2 千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は 433 億 8,671 万 5 千円で、前年度に比べて 27 億 8,700 万 6 千円 (6.9%) の増加である。固定負債は前年度に比べて 1 億 1,909 万 4 千円の増加であり、その内訳は企業債のみである。流動負債は前年度に比べて 3 億 6,428 万 4 千円の増加であり、その内訳は、未払金が 2 億 9,389 万 2 千円、企業債が 4,292 万円、前受金が 2,865 万 3 千円などで増加となっている。

資本の総額は 1 億 6,512 万 6 千円で、自己資本金が 25 億 7,919 万 3 千円に対し、資本余剰金は 10 億 1,807 万 4 千円、利益剰余金は 34 億 3,214 万 1 千円の赤字となっている。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書 P34,P41 参照) (単位:千円)

令和5年度 末残高	令和6年度		令和6年度 末残高	令和6年度 支払利息
	発行額	償還額		
23,227,897	1,744,800	1,582,786	23,389,911	288,230

企業債残高は 233 億 8,991 万 1 千円で、前年度に比べ 1 億 6,201 万 4 千円 (0.7%) の増加となっている。企業債利息は 2 億 8,823 万円で、営業収益(税抜)5 億 5,086 万 7 千円に占める割合は 52.3%と、昨年度に比べて 5.8 ポイント減少したが、非常に大きな割合となっている。

5 むすび

下水道事業会計の経営成績(税抜き)は、事業収益 22 億 8,762 万 2 千円に対して事業費用は **25 億 2,936 万円**、差し引き 2 億 4,173 万 8 千円の当年度純損失となった。下水道事業は現在もインフラの整備中であり、基本となる収益の下水道使用料のみでは費用が賄えない状況である。

収益面では、普及率や接続率が微増の状況であり、営業収益総額も前年度の 5.1%増となっているが、普及活動の促進を図りながら、今後も下水道使用料の安定した確保を目指し、新規接続の推進を図ることが求められる。

費用面では、処理区域の拡大に伴う管渠等の整備工事や処理場の改修工事など、今後も多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。また、効率的な汚水処理のため、施設の統廃合等について検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。

令和 6 年度末の未収金は、下水道使用料については 6,379 万 6 千円、受益者分担金については 439 万 8 千円であった。未収金対策として、水道料金と同時に督促状、催告書の発送や分納などを実施した。また、徴収の見込めない不良債権について京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理をされている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も引き続き滞納者に対する継続的な働きかけや給水停止等の措置を行うなど、回収に向けた積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するとともに、口座振替利用推進等により収納率向上を図るなどの対策を講じる必要がある。

下水道事業は、快適な市民生活環境や公共用水域の水質保全に不可欠なものである。早期の概成を目指し、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められるよう期待するものである。

決 算 審 査 資 料

(下水道事業)

決算審査資料 （下水道事業会計）

別表11	下水道事業の概要	27
別表12	収益的収支予算決算比較（税込）	28
別表13	資本的収支予算決算比較（税込）	29
別表14	損益計算書（税抜）	30
別表15	経営の安定度に関する指標	31
別表16	資産	32
別表17	負債	32
別表18	資本金	33
別表19	剰余金	33
別表20	下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）	34
別表21	受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）	34

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表11

下水道事業の概要

項 目 \ 年 度	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
行政区域内人口(人)	49,651	50,569	△ 918	△ 1.8%
処理区域内人口(人)	39,462	39,570	△ 108	△ 0.3%
普及率(%)	79.5	78.2	1.3%	—
水洗化人口(人)	28,614	28,462	152	0.5%
接続率(%)	72.5	71.9	0.6%	—
排水処理水量(m³)	3,365,826	3,317,836	47,990	1.4%
使用料単価	146円00銭	146円50銭	△ 0円50銭	—
処理原価	261円50銭	255円90銭	5円60銭	—
施設利用率(%)	41.3	39.8	1.5	—
有収率(%)	106.7	107.1	△ 0.4%	—

- ・行政区域内人口 年度末現在における住民基本台帳に登録された人口
- ・処理区域内人口 下水道が整備され処理可能な区域の人口（個人等管理浄化槽人口を除く）
- ・普及率 $\text{処理区域内人口} / \text{行政区域内人口} \times 100$
行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合を表す指標
- ・水洗化人口 下水道処理区域内において下水道に接続し、使用している人口
（個人等管理浄化槽人口を除く）
- ・接続率 $\text{水洗化人口} / \text{処理区域内人口} \times 100$
- ・使用料単価 下水道使用料/年間総有収水量
有収水量1m³あたり、どれだけの収益を得ているかを表す指標
- ・処理原価 経常費用/年間総有収水量
有収水量1m³あたり、汚水処理にどれだけの費用がかかっているかを表す指標
- ・施設利用率 $\text{晴天時1日平均処理水量} / \text{晴天時現在処理能力} \times 100$
施設の1日平均の利用状況を表す指標
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間汚水処理水量} \times 100$
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す指標

別表 12 下水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（１）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
下水道事業収益	2,458,209	2,443,315	△ 14,894	99.3
営業収益	614,231	603,245	△ 10,986	98.2
下水道使用料	585,697	576,665	△ 9,032	98.4
他会計負担金	28,170	26,092	△ 2,078	92.6
その他営業収益	364	488	124	134.0
営業外収益	1,843,978	1,840,070	△ 3,908	99.7
受取利息及び配当金	10	503	493	5,030.0
補助金	587	587	0	100.0
他会計補助金	952,600	954,314	1,714	100.1
長期前受金戻入	787,546	779,984	△ 7,562	99.0
雑収益	1,005	1,414	409	140.6
消費税及び地方消費税還付金	102,230	103,268	1,038	101.0
特別利益	0	0	0	0.0
その他特別利益	0	0	0	0.0

（２）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執行率 ②／①
下水道事業費用	2,722,956	2,599,305	123,651	95.4
営業費用	2,397,953	2,299,412	98,541	95.8
管渠費	113,842	97,750	16,092	85.8
ポンプ場費	53,606	44,426	9,180	82.8
処理場費	481,714	442,956	38,758	91.9
雨水事業費	27,964	25,750	2,214	92.0
浄化槽費	180,476	168,796	11,680	93.5
水洗化普及費	8,726	7,647	1,079	87.6
業務費	24,097	21,782	2,315	90.3
総係費	73,474	65,345	8,129	88.9
減価償却費	1,396,514	1,395,088	1,426	99.8
資産減耗費	37,540	29,872	7,668	79.5
営業外費用	308,003	299,893	8,110	97.3
支払利息及び企業債取扱諸費	295,986	289,743	6,243	97.8
雑支出	12,017	10,150	1,867	84.4
特別損失	0	0	0	0.0
減損損失	0	0	0	0.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0

別表 13 下水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

（1）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
資本の収入	3,907,296	Ⓐ 2,667,038	△ 1,240,258	68.2
負担金	104,607	82,921	△ 21,686	79.2
受益者負担金	92,212	81,284	△ 10,928	88.1
工事負担金	12,395	1,637	△ 10,758	13.2
企業債	2,530,800	1,621,200	△ 909,600	64.0
企業債	2,530,800	1,621,200	△ 909,600	64.0
補助金	917,959	608,904	△ 309,055	66.3
国庫補助金	889,056	583,581	△ 305,475	65.6
府補助金	3,703	3,828	125	103.3
他会計補助金	25,200	21,495	△ 3,705	85.2
出資金	353,800	353,800	0	100.0
他会計出資金	353,800	353,800	0	100.0
固定資産売却代金	130	213	83	163.8
固定資産売却代金	130	213	83	163.8

（2）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①－②－③	執行率 ②／①
資本の支出	4,515,756	Ⓑ 3,252,753	918,894	344,109	72.0
建設改良費	2,932,969	1,669,967	918,894	344,108	56.9
事務費	34,429	31,995	0	2,434	92.9
固定資産取得費	1,897	1,548	0	349	81.6
管渠整備事業費	2,301,850	1,209,636	824,540	267,674	52.5
管渠改良事業費	71,627	45,840	0	25,787	63.9
ポンプ場改良事業費	9,864	1,861	7,279	724	18.8
処理場改良事業費	258,831	224,127	19,988	14,716	86.5
雨水施設改良事業費	127,000	45,965	67,087	13,948	36.1
浄化槽整備事業費	127,471	108,995	0	18,476	85.5
企業債償還金	1,582,787	1,582,786		1	99.9
企業債償還金	1,582,787	1,582,786	0	1	99.9

（3）資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 Ⓐ－Ⓑ	△ 585,715	
補てん財源	585,715	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	86,544	
引継金	4,723	
過年度分損益勘定留保資金	370,848	
当年度分損益勘定留保資金	123,600	

別表14

下水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和6年度 ①	令和5年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率(③/②*100)
下水道事業収益 (A)	2,287,622	2,215,676	71,946	3.2
営業収益 (C)	550,867	524,176	26,691	5.1
下水道使用料	524,287	523,502	785	0.1
他会計負担金	26,092	0	26,092	皆増
その他営業収益	488	674	△ 186	△ 27.6
営業外収益	1,736,755	1,618,996	117,759	7.3
受取利息	503	11	492	4,472.7
府補助金	587	742	△ 155	△ 20.9
他会計補助金	954,314	905,800	48,514	5.4
長期前受金戻入	779,984	711,802	68,182	9.6
雑収益	1,367	641	726	113.3
特別利益	0	72,504	△ 72,504	△ 100.0
その他特別利益	0	72,504	△ 72,504	△ 100.0
下水道事業費用 (B)	2,529,360	2,509,152	20,208	0.8
営業費用	2,229,510	2,092,578	136,932	6.5
管渠費	89,549	92,179	△ 2,630	△ 2.9
ポンプ場費	40,396	40,571	△ 175	△ 0.4
処理場費	406,408	387,282	19,126	4.9
雨水施設費	23,581	0	23,581	皆増
浄化槽費	154,951	146,048	8,903	6.1
水洗化普及費	7,495	5,676	1,819	32.0
業務費	19,956	19,720	236	1.2
総係費	64,164	71,456	△ 7,292	△ 10.2
減価償却費	1,395,088	1,297,560	97,528	7.5
資産減耗費	27,921	32,085	△ 4,164	△ 13.0
営業外費用	299,850	309,676	△ 9,826	△ 3.2
支払利息 (D)	289,743	304,739	△ 14,996	△ 4.9
雑支出	10,107	4,937	5,170	104.7
特別損失	0	106,898	△ 106,898	△ 100.0
減損損失	0	106,898	△ 106,898	△ 100.0
その他特別損失	0	0	0	0.0
当年度純損益 (A)-(B)	△ 241,738	△ 293,477	51,739	△ 17.6
総収支比率 (A)/(B)	90.4	88.3	2.1	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	52.6	58.1	△ 5.5	

別表 15 下水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

年度 項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	備 考
総収支比率	90.4	88.3	90.5	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
公共下水道	92.5	89.9	90.6	
類似団体全国平均値	—	110.8	113.9	
特定環境保全公共下水道	87.8	88.9	89.3	
類似団体全国平均値	—	102.5	105.4	
農業集落排水処理施設	90.5	86.6	91.8	
類似団体全国平均値	—	114.6	116.1	
漁業集落排水処理施設	85.8	99.1	96.1	
類似団体全国平均値	—	76.7	107.4	
浄化槽整備	88.2	81.7	91.7	
類似団体全国平均値	—	111.9	108.6	
経常収支比率	90.4	89.2	90.5	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
公共下水道	92.5	89.9	90.6	
類似団体全国平均値	—	103.6	99.1	
特定環境保全公共下水道	87.8	88.9	89.3	
類似団体全国平均値	—	102.3	103.2	
農業集落排水処理施設	90.5	93.3	91.8	
類似団体全国平均値	—	100.1	95.5	
漁業集落排水処理施設	85.8	99.1	96.1	
類似団体全国平均値	—	77.5	80.2	
浄化槽整備	88.2	81.7	91.7	
類似団体全国平均値	—	102.2	97.0	
営業収支比率	24.7	25.0	27.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
公共下水道	25.6	25.1	31.4	
特定環境保全公共下水道	24.4	24.3	23.2	
農業集落排水処理施設	27.8	31.7	31.0	
漁業集落排水処理施設	16.6	20.0	37.3	
浄化槽整備	19.1	19.4	20.7	

※ 5事業全てを実施している類似団体は無いため、各事業ごとに同じ区分の団体を掲載した。

別表16

下水道事業資産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	1,761,301	1,696,284	65,017	3.8
	建 物	2,307,762	2,216,569	91,193	4.1
	構 築 物	33,705,675	32,016,188	1,689,487	5.3
	機 械 及 び 装 置	4,756,434	3,976,358	780,076	19.6
	車 両 運 搬 具	579	810	△ 231	△ 28.5
	工具器具及び備品	4,811	5,559	△ 748	△ 13.5
	建 設 仮 勘 定	4,573	0	4,573	皆増
	小 計	42,541,135	39,911,768	2,629,367	6.6
流動資産	現 金 預 金	561,817	312,676	249,141	79.7
	未 収 金	176,611	157,385	19,226	12.2
	貸 倒 引 当 金	△ 5,002	△ 4,660	△ 342	7.3
	貯 蔵 品	3,735	2,988	747	25.0
	前 払 金	273,546	207,599	65,947	31.8
	その他流動資産	0	0	0	0.0
	小 計	1,010,707	675,988	334,719	49.5
合 計		43,551,842	40,587,756	2,964,086	7.3

別表17

下水道事業負債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	21,764,205	21,645,111	119,094	0.6
	引 当 金	0	0	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	0.0
	小 計	21,764,205	21,645,111	119,094	0.6
流動負債	一 時 借 入 金	0	0	0	0.0
	企 業 債	1,625,706	1,582,786	42,920	2.7
	未 払 金	522,245	228,353	293,892	128.7
	前 受 金	123,487	94,834	28,653	30.2
	引 当 金	8,895	7,989	906	11.3
	その他流動負債	2,009	4,097	△ 2,088	△ 51.0
	小 計	2,282,343	1,918,059	364,284	19.0
繰延収益	長 期 前 受 金	23,060,820	19,989,358	3,071,462	15.4
	収益化累計額	△ 3,720,652	△ 2,952,819	△ 767,833	26.0
	小 計	19,340,168	17,036,539	2,303,629	13.5
合 計 (ア)		43,386,715	40,599,709	2,787,006	6.9

別表18

下水道事業資本金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	2,579,193	2,225,393	353,800	15.9
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		2,579,193	2,225,393	353,800	16

別表19

下水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	0	0	0	0.0
	受 益 者 負 担 金	0	0	0	0.0
	補 助 金	712,457	687,811	24,646	3.6
	受 贈 財 産 評 価 額	286,062	265,246	20,816	7.8
	寄 附 金	0	0	0	0.0
	工 事 負 担 金	0	0	0	0.0
	そ の 他	19,555	0	19,555	皆増
	小 計	1,018,074	953,057	65,017	6.8
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	0	0	0	0.0
	建 設 改 良 積 立 金	0	0	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	△ 3,432,141	△ 3,190,403	△ 241,738	△ 7.6
	(うち当年度純利益)	(△ 241,738)	(△ 293,477)	(51,739)	17.6
	小 計	△ 3,432,141	△ 3,190,403	△ 241,738	△ 7.6
合 計 (ウ)		△ 2,414,067	△ 2,237,346	△ 176,721	△ 7.9

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	165,126	△ 11,953	177,079	1,481.5
負 債 資 本 合 計 (ア)+(イ)+(ウ)	43,551,842	40,587,756	2,964,086	7.3

別表20 下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和6年度	13,483	50,107,581			0	0		
令和5年度	561	1,759,391	13,187	50,411,100	0	0	0	0
令和4年度	522	1,720,676	665	2,336,111	1	209	0	0
令和3年度	430	1,568,877	499	1,895,732	5	2,188	0	0
令和2年度	366	1,439,068	423	1,668,438	0	0	0	0
令和元年度	302	1,319,386	362	1,461,733	35	85,962	0	0
平成30年度	248	1,088,819	278	1,210,525	11	34,800	62	158,740
平成29年度	194	837,908	215	899,757	0	0	26	66,199
平成28年度	102	600,534	118	654,225	0	0	0	0
平成27年度	114	576,725	126	623,824	0	0	0	0
平成26年度	143	858,999	143	858,999	0	0	0	0
平成25年度	110	664,346	116	694,395	0	0	0	0
平成24年度	78	488,109	91	528,609	1	20	0	0
平成23年度	58	386,564	71	472,211	1	300	0	0
平成22年度	64	310,898	77	390,000	0	0	0	0
平成21年度	16	48,655	16	48,655	0	0	0	0
平成20年度	6	19,616	6	19,616	0	0	0	0
合 計	16,797	63,796,152	16,393	64,173,930	54	123,479	88	224,939

別表21 受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和5年度	24	2,430,000			0	0		
令和4年度	2	410,000	30	3,208,000	0	0	0	0
令和4年度	4	168,000	7	246,000	0	0	0	0
令和3年度	4	168,000	11	424,000	0	0	0	0
令和2年度	4	104,000	8	208,000	0	0	0	0
令和元年度	2	52,000	3	78,000	0	0	0	0
平成30年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成29年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成28年度	1	17,469	1	17,469	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成25年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成24年度	1	28,788	1	28,788	0	0	0	0
平成23年度	1	65,000	1	65,000	0	0	0	0
平成22年度	0	0	0	0	0	0	1	22,000
平成21年度	0	0	0	0	0	0	4	88,000
平成20年度	0	0	0	0	0	0	1	22,000
平成19年度	3	63,000	3	63,000	0	0	1	19,000
平成18年度	12	264,000	12	264,000	0	0	4	88,000
平成17年度	9	173,400	10	185,400	0	0	3	66,000
平成16年度	3	66,000	4	68,000	1	2,000	0	0
合 計	80	4,397,657	101	5,243,657	1	2,000	14	305,000

京丹後市病院事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 22 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院が延 39,108 人（1 日平均 107.1 人）、久美浜病院が延 51,434 人（同 140.9 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 2,516 人（同 6.6 人）の減少、久美浜病院が 542 人（同 1.9 人）の増加となった。

外来患者数は、弥栄病院が延 82,999 人（1 日平均 341.6 人）、久美浜病院が延 81,605 人（同 335.8 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 2,571 人の減少、久美浜病院は 875 人の増加となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 2.4 ポイント減少し 67.8%に、久美浜病院は 1.1 ポイント増加し 82.9%の結果となった。

弥栄病院では、昨年度に引き続き一般病床 199 床のうち 37 床を休床とし 162 床としていたが、入院収益の増収を図ることを目的に、12 月から稼働病床数をさらに減少させ、150 床として運営を行った。

久美浜病院では、府県境を越え、隣接する但馬地域の病院や診療所からの患者を受け入れ、北近畿県内の病院や診療所との連携強化に努めている。

(1) 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 23、別表 26 及び別表 27 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では整形外科、人工透析、外科で患者数が増加したものの、内科、総合診療科、産婦人科、眼科等で減少し、延患者数は 39,108 人と、前年度に比べて 2,516 人の減少となった。また、久美浜病院では外科、歯科・歯科口腔外科、泌尿器科、眼科で患者数が減少したが、内科、整形外科、小児科は増加となり延患者数は 31,916 人で、前年度に比べて 12 人の増加となった。

療養病床においては、久美浜病院で 19,518 人と前年度に比べて 530 人の増加となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 29 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 67.8%で、前年度に比べて 2.4 ポイント減少した。久美浜病院の一般病床の利用率は 79.5%で、前年度に比べて 0.3 ポイント増加し、療養病床では 89.1%と 2.6 ポイント増加した。

(2) 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 23 及び別表 28 のとおりである。

弥栄病院では、小児科、人工透析、内科、産婦人科などで患者数が減少し、精神科、耳鼻咽喉科などで増加したが、延患者数は 82,999 人と、前年度に比べ 2,571 人の減少となった。

久美浜病院では、歯科・歯科口腔外科、皮膚科で患者数が増加し、内科、泌尿器科、眼科などで減少しているが、延患者数は 81,605 人と、前年度に比べ 875 人の増加となった。

(3) 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 24 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 2,943 人で前年度に比べ 55 人の減少、訪問延人数は 12,245 人で前年度に比べ 136 人の増加となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,687 人で前年度に比べ 41 人の減少となり、訪問延人数は 8,362 人で前年度に比べ 560 人の減少となった。

(4) 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 25 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 547 人で前年度に比べ 8 人の増加となった。また、通所延人数は 3,609 人で 156 人の増加となった。

2 予算執行状況（税込）

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の執行状況は、別表 32、別表 33 のとおりである。

収益的収入である病院事業収益は、67 億 4,817 万 8 千円であった。

弥栄病院事業収益は、前年度に比べて 1 億 9,836 万 4 千円減少しており、その内訳は医業収益が 9,833 万 3 千円、医業外収益が 9,709 万 1 千円の減少などである。

久美浜病院事業収益は、前年度に比べて 6,584 万 1 千円減少しており、その内訳は医業収益が 485 万 3 千円、通所リハビリテーション事業収益が 269 万 1 千円の増加、医業外収益が 6,585 万 8 千円、訪問看護事業収益が 622 万 7 千円の減少などである。

収益的支出である病院事業費用は、74 億 3,730 万 1 千円であった。不用額は総額 4 億 3,226 万 8 千円となっている。

弥栄病院事業費用は、前年度に比べて 8,562 万 5 千円増加しており、その内訳は、特別損失が 1,447 万円、医業外費用が 632 万 6 千円の減少、医業費用が 9,608 万 4 千円、訪問看護事業費用 1,033 万 7 千円の増加である。久美浜病院事業費用は、前年度に比べて 1 億 554 万 8 千円増加しており、主に、特別損失が 334 万 3 千円、医業外費用が 364 万 7 千円の減少しているものの、医業費用が 1 億 772 万 2 千円増加していることなどによるものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は、別表 33 のとおりである。

資本的収入は 11 億 1,007 万 2 千円、資本的支出は 13 億 1,688 万 6 千円であった。

改良工事に関しては 2 億 727 万 4 千円（弥栄病院 1 億 725 万 3 千円、久美浜病院 1

億 2 万 1 千円) 支出し、器械及び備品整備については 5 億 4,991 万 9 千円 (弥栄病院 4 億 3,265 万 5 千円、久美浜病院 1 億 1,726 万 4 千円) を支出した。医師の確保など診療の充実を目指した投資などを行っている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2 億 681 万 4 千円は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

3 経営成績 (税抜)

損益計算書による経営成績は、別表 34 のとおりである。

総収益 67 億 2,039 万 4 千円に対して総費用 74 億 812 万 4 千円で、差し引き 6 億 8,773 万円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金 39 億 2,371 万 6 千円を加え、当年度未処理欠損金 (累積欠損金) は、46 億 1,144 万 6 千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は 36 億 4,208 万 3 千円、総費用は 41 億 9,799 万 5 千円で、差し引き 5 億 5,591 万 2 千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、28 億 3,922 万 2 千円となっている。医業収益は 29 億 6,247 万 3 千円で、前年度に比べて 9,802 万 9 千円減少、医業費用は 39 億 583 万 5 千円と、前年度に比べて 9,256 万 8 千円増加し、医業損失は 9 億 4,336 万 2 千円で前年度と比べ 1 億 9,059 万 7 千円の増加となり、悪化している。

次に、久美浜病院の総収益は 30 億 7,831 万 1 千円、総費用は 32 億 1,012 万 9 千円で、差し引き 1 億 3,181 万 8 千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は 17 億 7,222 万 4 千円となっている。医業収益は 25 億 6,442 万 6 千円で、前年度に比べて 543 万 3 千円の増加となった。医業費用は 30 億 837 万 7 千円と、前年度に比べて 1 億 781 万 6 千円増加しており、医業損失は 4 億 4,395 万円 1 千円で前年度と比べ 1 億 238 万 3 千円の増加となり、こちらも悪化している。

医業における経営状態を示す比率は、別表 31 のとおりである。

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて 6.2 ポイントの減少 (弥栄病院 6.9 ポイントの減少、久美浜病院 5.4 ポイントの減少) となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて 3.9 ポイントの減少 (弥栄病院 4.4 ポイントの減少、久美浜病院 3.2 ポイントの減少) となった。

4 財政状態 (税抜)

貸借対照表による財政状態は、別表 35～38 のとおりである。

資産の総額は 89 億 3,912 万 8 千円で、前年度に比べて 1 億 6,880 万 7 千円増加し

ている。

固定資産は、総額で1億4,348万7千円増加しており、主な内訳として、建物が9,761万9千円、構築物が1,658万6千円など減少しているが、器械及び備品が2億3,830万6千円増加している。

診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	令和6年度			令和5年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	51,457	32,564	18,893	56,169	35,536	20,633
不納欠損	2,972	2,486	468	0	0	0

未収金の総額は5,145万7千円で、前年度に比べて471万2千円減少（弥栄病院は297万2千円の減少、久美浜病院は174万円の減少）している。

負債の総額は96億4,577万6千円で、前年度に比べて8億3,360万5千円増加している。固定負債では企業債が1億7,029万2千円増加しており、流動負債では一時借入金1億9,000万円、未払金が4億2,256万8千円増加しており、減少はリース債務が75万3千円などとなっている。

資本合計はマイナス7億664万8千円で、前年度に比べて6億6,479万8千円減少している。

企業債の状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	令和5年度 末残高	令和6年度		令和6年度 末残高	令和6年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	5,520,088	508,900	334,511	5,694,477	30,769
久美浜病院	903,908	215,600	208,324	911,184	6,438
合 計	6,423,996	724,500	542,835	6,605,661	37,207

企業債残高は、66億566万1千円で、前年度に比べて1億8,166万5千円増加している。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は56億9,447万7千円で、前年度に比べて1億7,438万9千円増加している。企業債利息は3,076万9千円で、医業収益29億6,247万3千円に占める割合は1.0%（前年度1.1%）と減少している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は9億1,118万4千円で、前年度に比べて727万6千円増加している。企業債利息は643万8千円で、医業収益25億6,442万6千円に占める割合は0.3%（前年度0.4%）と減少している。

5 むすび

弥栄病院では地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、在宅療養や入退院支援などの更なる連携強化に取り組むとともに、訪問診療の医師体制を強化し、在宅医療提供体制の充実を図った。久美浜病院では、地域医療連携室の体制強化とともに近隣病院との医療連携を積極的に進め、病床利用率の増加を図った。具体的には、府県境を越えて隣接する但馬地域の病院や診療所からの患者受け入れを行い、北近畿内の病院や診療所との連携強化を図るとともに、障害児・者や学童外来での歯科診療や重度心身障害者の短期入所利用の受け入れを行った。

病院の医師体制について、弥栄病院では、令和5年度末から常勤医師が3名減少したが、府立医科大学、府立医科大学北部医療センター、京都大学などから医師の派遣を受け、医療提供体制を整えた。久美浜病院では、1名減の17名でのスタートとなり、診療科の体制の変更はあったものの、減員となった内科では、年間を通して専攻医や研修医を受け入れ、医療提供体制の確保を行った。

両病院とも、医師体制が充実しているとは言えない中、医師不足の解消に向けて精力的に招へい活動をするなどの努力もあって、関係機関からの医師の派遣を受けるなどして、患者需要に応えていただいた。しかしながら、依然として医師の確保につながりにくい状況にあり、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

経常収支については、両市立病院とも赤字決算となった。

収益面を見ると、弥栄病院では外来収益が前年度比4%の増加、入院収益は8.3%の減少となり、1億2,187万8千円の減収となり、久美浜病院では入院収益が前年度比3.3%の増加、外来収益が8.2%の減少となり、1,171万7千円の減収となった。

費用面を見ると、両市立病院とも人件費が増加しており、弥栄病院では、減価償却費、材料費が減少し、経費が増加している。久美浜病院では減価償却費、経費が減少し、材料費が増加している。

資金不足比率は7.7%と7ポイントの増加となり、更にマイナス幅が大きくなった。

特に病院の本業である医業損失の改善が必要であり、そのためには安定的に入院収入を確保することが肝要であり、診療科ごとの患者数、診療収入などに注目し、患者のニーズに応えられるよう常勤医師の拡充や各部門の連携を図ることによって、医療体制を強化する必要がある。

個人が窓口で支払うべき診療費の未収金については、前年度に比べ減少した。積極的に滞納整理に取り組んだ成果ではあるが、依然、多額の未収金があることから、先進事例等も参考にしながら徴収に努められたい。また、令和6年度は295万4千円の不納欠損処理を行っている。回収見込みのない債権は適正に不納欠損処理を行い、負担の公平性、経営の健全化を推し進める観点から、今後も関係部局等と連携して積極的な滞納整理への対応を求めるものである。また、未収金の増加を防ぐために、現年度の未収金が生じないような工夫を行うとともに、未収金が生じた場合でも回収を早期に着手するなど、債権の適正な管理と徴収に努められたい。

市立診療所も含めた市全体の医療体制については、将来にわたって地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等、幅広く必要な医療を提供し、公的医療施設に求められる役割が十分に果たせるよう、経営改善への具体的な方策をもって持続可能な運営に努める必要がある。病院施設及び設備についても長期的な展望に立って計画的に整備し、患者サービスと医療の質の向上のため、有効に活用されたい。

医療を取り巻く環境の変化や多様化する患者のニーズを的確に把握し、今後も、全職員が経営感覚を常に念頭に置きながら、各病院の特色を生かして医療サービスの向上と経営改善に取り組まれたい。そして、市民に信頼され、地域に密着した良質で必要とされる医療等のサービスを提供し続けるためにも、中長期的な目線で安定的な経営基盤が確立されるよう強く望むものである。

決 算 審 査 資 料

(病 院 事 業 会 計)

病院事業会計 決算審査資料

別表２２	病院事業の概要	45
別表２３	入院患者・外来患者の状況	46
別表２４	訪問看護の状況	46
別表２５	通所リハビリテーションの状況	46
別表２６	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	47
別表２７	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	48
別表２８	診療科目別外来患者の状況	49
別表２９	病床利用率	50
別表３０	患者１人１日当たり診療収入	50
別表３１	収支比率	50
別表３２	収益的収支（税込）	51
別表３３	資本的収支（税込）	52
別表３４	損益計算書（税抜）	53
別表３５	資産	55
別表３６	負債	55
別表３７	資本金	56
別表３８	剰余金	56
別表３９	診療費未収金	57

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表22

病院事業の概要

項 目				単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院		
					令和6年度	令和5年度	対前年比	令和6年度	令和5年度	対前年比
医 業	病 床 数 ※1			床	199	199	0	170	170	0
				年 間 延	床	57,678	59,292	△ 1,614	62,050	62,220
	患 者 数	入 院	年 間 延	人	39,108	41,624	△ 2,516	51,434	50,892	542
			1日平均	人	107.1	113.7	△ 6.6	140.9	139.0	1.9
		外 来	年 間 延	人	82,999	85,570	△ 2,571	81,605	80,730	875
			1日平均	人	341.6	352.1	△ 10.5	335.8	332.2	3.6
	病床利用率			%	67.8	70.2	△ 2.4	82.9	81.8	1.1
	外来診療実日数			日	243	243	0	243	243	0
	医業費用(税抜)			千円	3,905,835	3,813,267	92,568	3,008,377	2,900,561	107,816
	医業収益(税抜)			千円	2,962,473	3,060,502	△ 98,029	2,564,427	2,558,993	5,434
	入 院 外 来 収 益 (税 抜)	入 院	総 額	千円	1,692,005	1,844,520	△ 152,515	1,564,068	1,513,630	50,438
			1人1日平均	円	43,265	44,314	△ 1,049	30,409	29,742	667
		外 来	総 額	千円	804,390	773,754	30,636	697,480	759,635	△ 62,155
			1人1日平均	円	9,692	9,042	650	8,547	9,410	△ 863
訪問看護事業（事業日数は外来診療実日数に同じ）		訪問実人数		人	2,943	2,998	△ 55	1,687	1,728	△ 41
		訪問延人数		人	12,245	12,109	136	8,362	8,922	△ 560
		1日平均訪問患者数		人	50.4	49.8	0.6	34.4	36.7	△ 2.3
通所リハビリテーション事業（事業日数は弥栄病院は243日、久美浜病院は242日）		通所実人数		人				547	539	8
		通所延人数		人				3,609	3,453	156
		1日平均通所患者数		人				14.9	14.2	0.7
職 員 数 (年度末現在)		医 師		人	16	20	△ 4	21	21	0
		看 護 師 ※2		人	168	164	4	169	163	6
		そ の 他		人	108	106	2	102	104	△ 2
		計		人	292	290	2	292	288	4

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～11月)実稼働病床162床、休床37床。(12月～3月)実稼働病床150床、休床49床

※2 職員数の看護師には助産師・准看護師・介護福祉士・看護助手・介護助手を含む

別表23 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分 \ 年 度		令和6年度		令和5年度		対 前 年 比	
		延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (309床) 合 計	71,024	194.5	73,528	200.9	△ 2,504	△ 3.4
	弥 栄 病 院 (199床) ※1	39,108	107.1	41,624	113.7	△ 2,516	△ 6.0
	久美浜病院 (110床)	31,916	87.4	31,904	87.2	12	0.0
	療養病床 (60床) 合 計	19,518	53.5	18,988	51.9	530	2.8
	弥 栄 病 院 (0床)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	久美浜病院 (60床)	19,518	53.5	18,988	51.9	530	2.8
外 来	合 計	164,604	677.4	166,300	684.3	△ 1,696	△ 1.0
	弥 栄 病 院 診療実日数 (243日)	82,999	341.6	85,570	352.1	△ 2,571	△ 3.0
	久美浜病院 診療実日数 (243日)	81,605	335.8	80,730	332.2	875	1.1

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～11月)実稼働病床162床、休床37床。(12月～3月)実稼働病床150床、休床49床

別表24 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分 \ 年 度		令和6年度			令和5年度			対 前 年 比	
		訪 問 実 人 数 (A)	訪 問 延 人 数 (B)	1日平均 訪 問 患者数	訪 問 実 人 数 (C)	訪 問 延 人 数 (D)	1日平均 訪 問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		4,630	20,607	84.8	4,726	21,031	86.5	△ 96	△ 424
弥 栄 病 院		2,943	12,245	50.4	2,998	12,109	49.8	△ 55	136
久美浜病院		1,687	8,362	34.4	1,728	8,922	36.7	△ 41	△ 560

別表25 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分 \ 年 度		令和6年度			令和5年度			対 前 年 比	
		通 所 実 人 数 (A)	通 所 延 人 数 (B)	1日平均 通 所 患者数	通 所 実 人 数 (C)	通 所 延 人 数 (D)	1日平均 通 所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		547	3,609	14.9	539	3,453	14.2	8	156
弥 栄 病 院									
久美浜病院		547	3,609	14.9	539	3,453	14.2	8	156

別表 26 診療科目別入院患者の状況（一般病床）

診療科	年 度	令和6年度			令和5年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
199 床 ※1	弥栄病院								
	内 科	19,284	52.8	49.3	22,039	60.3	52.9	△ 2,755	△ 7.5
	外 科	1,379	3.8	3.5	1,335	3.6	3.2	44	0.2
	整形外科	9,613	26.3	24.6	8,220	22.5	19.7	1,393	3.8
	産婦人科	1,077	3.0	2.8	1,508	4.1	3.6	△ 431	△ 1.1
	小児科	319	0.9	0.8	404	1.1	1.0	△ 85	△ 0.2
	耳鼻咽喉科	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.0
	眼 科	1,381	3.8	3.5	1,737	4.7	4.2	△ 356	△ 0.9
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	3,558	9.7	9.1	3,145	8.6	7.6	413	1.1
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	2,496	6.8	6.4	3,236	8.8	7.8	△ 740	△ 2.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	39,108	107.1	100.0	41,624	113.7	100.0	△ 2,516	△ 6.6
110 床	久美浜病院								
	内 科	17,715	48.6	55.6	17,098	46.7	53.6	617	1.9
	外 科	5,182	14.2	16.2	6,138	16.8	19.2	△ 956	△ 2.6
	整形外科	4,100	11.2	12.8	3,368	9.2	10.6	732	2.0
	小児科	891	2.4	2.8	866	2.4	2.7	25	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	154	0.4	0.5	193	0.5	0.6	△ 39	△ 0.1
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	870	2.4	2.7	1,044	2.9	3.3	△ 174	△ 0.5
	歯科・歯科 口腔外科	3,004	8.2	9.4	3,197	8.7	10.0	△ 193	△ 0.5
	心療内科・ 精 神 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	31,916	87.4	100.0	31,904	87.2	100.0	12	0.2
合 計		71,024	194.5		73,528	200.9		△ 2,504	△ 6.4

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、（4月～11月）実稼働病床162床、休床37床。（12月～3月）実稼働病床150床、休床49床

別表 27

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	令和6年度			令和5年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
〇 床	弥栄病院								
	内 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	外 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	整形外科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小児科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	眼 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	人工透析	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	精神科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小 計	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
60 床	久美浜病院								
	内 科	12,530	34.4	64.2	12,375	33.8	65.1	155	0.6
	外 科	5,524	15.1	28.3	4,864	13.3	25.6	660	1.8
	整形外科	554	1.5	2.8	751	2.1	4.0	△ 197	△ 0.6
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	910	2.5	4.7	998	2.7	5.3	△ 88	△ 0.2
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精 神 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	19,518	53.5	100.0	18,988	51.9	100.0	530	1.6
合 計		19,518	53.5		18,988	51.9		530	1.6

別表28

診療科目別外来患者の状況

年 度 診療科		令和6年度			令和5年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内 科	26,651	109.7	32.1	27,280	112.4	31.9	△ 629	△ 2.7
	外 科	1,441	5.9	1.7	1,427	5.9	1.7	14	0.0
	整形外科	11,383	46.8	13.7	11,311	46.5	13.2	72	0.3
	産婦人科	6,384	26.3	7.7	6,981	28.7	8.2	△ 597	△ 2.4
	小児科	3,569	14.7	4.3	4,421	18.2	5.2	△ 852	△ 3.5
	耳鼻咽喉科	1,893	7.8	2.3	1,510	6.2	1.8	383	1.6
	眼 科	12,819	52.8	15.5	13,111	54.0	15.3	△ 292	△ 1.2
	泌尿器科	1,569	6.5	1.9	1,537	6.3	1.8	32	0.2
	人工透析	6,901	28.4	8.3	7,739	31.8	9.0	△ 838	△ 3.4
	リハビリテーション科	509	2.1	0.6	811	3.3	0.9	△ 302	△ 1.2
	皮膚科	2,320	9.5	2.8	2,353	9.7	2.7	△ 33	△ 0.2
	総合診療科	2,555	10.5	3.1	2,853	11.7	3.3	△ 298	△ 1.2
	精神科	5,005	20.6	6.0	4,236	17.4	5.0	769	3.2
	小 計	82,999	341.6	100.0	85,570	352.1	100.0	△ 2,571	△ 10.5
久 美 浜 病 院	内 科	24,892	102.4	30.4	25,402	104.4	31.4	△ 510	△ 2.0
	外 科	5,510	22.7	6.8	5,790	23.8	7.2	△ 280	△ 1.1
	整形外科	6,078	25.0	7.4	6,122	25.2	7.6	△ 44	△ 0.2
	小児科	13,280	54.7	16.3	13,549	55.8	16.8	△ 269	△ 1.1
	皮膚科	1,288	5.3	1.6	1,279	5.3	1.6	9	0.0
	眼 科	3,411	14.0	4.2	3,729	15.3	4.6	△ 318	△ 1.3
	耳鼻咽喉科	1,218	5.0	1.5	1,374	5.7	1.7	△ 156	△ 0.7
	泌尿器科	3,038	12.5	3.7	3,373	13.9	4.2	△ 335	△ 1.4
	歯科・歯科 口腔外科	22,498	92.6	27.6	19,709	81.1	24.4	2,789	11.5
	心療内科・ 精 神 科	392	1.6	0.5	403	1.7	0.5	△ 11	△ 0.1
	小 計	81,605	335.8	100.0	80,730	332.2	100.0	875	3.6
	合 計	164,604	677.4		166,300	684.3		△ 1,696	△ 6.9

別表29 病 床 利 用 率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年比
		病院				
一般病床 ※	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合 計	71.5	73.9	69.1	△ 2.4
		弥栄病院	67.8	70.2	67.7	△ 2.4
		久美浜病院	79.5	79.2	71.3	0.3
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合 計	89.1	86.5	74.1	2.6
		弥栄病院	0.0	0.0	0.0	0.0
		久美浜病院	89.1	86.5	74.1	2.6

※ 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～11月)実稼働病床162床、休床37床。(12月～3月)実稼働病床150床、休床49床

別表30 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入

(単位：円)

区 分	算 出 方 法	年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年比
		病院				
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	41,331	41,382	42,636	△ 51
		弥栄病院	43,265	44,314	44,534	△ 1,049
		久美浜病院	38,961	37,557	39,910	1,404
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	16,426	16,611	17,454	△ 185
		弥栄病院	0	0	0	0
		久美浜病院	16,426	16,611	17,454	△ 185
外来診療収入	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	合 計	9,124	9,221	10,763	△ 97
		弥栄病院	9,692	9,042	10,941	650
		久美浜病院	8,547	9,410	10,546	△ 863
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合 計	9,425	9,463	9,340	△ 38
		弥栄病院	9,129	9,115	9,105	14
		久美浜病院	9,857	9,936	9,678	△ 79
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合 計	10,843	10,554	10,567	289
		弥栄病院				
		久美浜病院	10,843	10,554	10,567	289

別表31 病 院 事 業 収 支 比 率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年比
		病院				
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	90.0	96.2	100.8	△ 6.2
		弥栄病院	86.5	93.4	100.8	△ 6.9
		久美浜病院	94.7	100.1	100.7	△ 5.4
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	80.8	84.7	86.2	△ 3.9
		弥栄病院	76.4	80.8	83.8	△ 4.4
		久美浜病院	86.6	89.8	89.6	△ 3.2

別表 32

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和6年度			令和5年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医 業 収 益	5,552,135	2,979,765	2,572,370	5,645,615	3,078,098	2,567,517
	医 業 外 収 益	908,855	556,938	351,917	1,071,804	654,029	417,775
	訪問看護事業収益	194,211	111,786	82,425	199,027	110,375	88,652
	通所リハビリテーション事業収益	39,133		39,133	36,442		36,442
	特 別 利 益	53,844	12,075	41,769	59,495	16,426	43,069
	合 計	6,748,178	3,660,564	3,087,614	7,012,383	3,858,928	3,153,455
収益的支出	医 業 費 用	7,116,710	4,017,748	3,098,962	6,912,904	3,921,664	2,991,240
	医 業 外 費 用	103,498	75,475	28,023	113,471	81,801	31,670
	訪問看護事業費用	180,786	121,086	59,700	171,377	110,749	60,628
	通所リハビリテーション事業費用	33,213		33,213	27,469		27,469
	特 別 損 失	3,094	1,200	1,894	20,907	15,670	5,237
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,437,301	4,215,509	3,221,792	7,246,128	4,129,884	3,116,244

別表 33

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和6年度			令和5年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本の収入	企業債	686,300	490,700	195,600	220,000	167,800	52,200
	他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	他会計負担金	348,900	201,268	147,632	342,070	174,811	167,259
	補助金	71,372	50,573	20,799	97,274	30,262	67,012
	長期貸付金返還金	3,500	1,750	1,750	1,850	925	925
	寄附金	0	0	0	0	0	0
	小計	1,110,072	744,291	365,781	661,194	373,798	287,396
	補填財源	消費税及び地方消費税資本の収支調整額	0	0	0	0	0
		繰越工事資金	0	0	0	0	0
		損益勘定留保資金等	206,814	140,506	66,308	173,339	128,807
		利益剰余金	0	0	0	0	0
		小計	206,814	140,506	66,308	173,339	128,807
	合計	1,316,886	884,797	432,089	834,533	502,605	331,928
資本の支出	建設改良費	761,091	543,806	217,285	279,239	199,749	79,490
	企業債償還金	542,835	334,511	208,324	541,734	296,076	245,658
	長期貸付金	12,960	6,480	6,480	13,560	6,780	6,780
	合計	1,316,886	884,797	432,089	834,533	502,605	331,928

別表 34

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	令和6年度			令和5年度			対前年比			対前年度比 計 (%)
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益 (A)	6,720,394	3,642,083	3,078,311	6,983,750	3,839,786	3,143,964	△ 263,356	△ 197,703	△ 65,653	△ 3.8
医業収益	5,526,899	2,962,473	2,564,426	5,619,495	3,060,502	2,558,993	△ 92,596	△ 98,029	5,433	△ 1.6
入院収益	3,256,073	1,692,005	1,564,068	3,358,150	1,844,520	1,513,630	△ 102,077	△ 152,515	50,438	△ 3.0
外来収益	1,501,870	804,390	697,480	1,533,389	773,754	759,635	△ 31,519	30,636	△ 62,155	△ 2.1
他会計負担金	513,487	278,968	234,519	463,518	251,522	211,996	49,969	27,446	22,523	10.8
その他医業収益	255,469	187,110	68,359	264,438	190,706	73,732	△ 8,969	△ 3,596	△ 5,373	△ 3.4
医業外収益	906,535	555,748	350,787	1,069,290	652,482	416,808	△ 162,755	△ 96,734	△ 66,021	△ 15.2
受取利息配当金	255	138	117	6	5	1	249	133	116	4,150.0
補助金	48,358	22,861	25,497	247,374	173,050	74,324	△ 199,016	△ 150,189	△ 48,827	△ 80.5
負担金交付金	501,674	291,789	209,885	509,891	271,824	238,067	△ 8,217	19,965	△ 28,182	△ 1.6
患者外給食収益	3,147	3,147	0	2,952	2,952	0	195	195	0	6.6
長期前受金戻入	308,398	215,972	92,426	263,624	187,052	76,572	44,774	28,920	15,854	17.0
その他医業外収益	44,703	21,841	22,862	45,443	17,599	27,844	△ 740	4,242	△ 4,982	△ 1.6
訪問看護事業収益	194,212	111,787	82,425	199,026	110,375	88,651	△ 4,814	1,412	△ 6,226	△ 2.4
訪問看護療養費収益	180,905	104,482	76,423	184,787	103,002	81,785	△ 3,882	1,480	△ 5,362	△ 2.1
利用料収益	13,307	7,305	6,002	14,239	7,373	6,866	△ 932	△ 68	△ 864	△ 6.5
通所リハビリテーション事業収益	39,133		39,133	36,443		36,443	2,690		2,690	7.4
通所リハビリテーション療養費収益	32,464		32,464	30,153		30,153	2,311		2,311	7.7
利用料収益	6,669		6,669	6,290		6,290	379		379	6.0
特別利益	53,615	12,075	41,540	59,496	16,427	43,069	△ 5,881	△ 4,352	△ 1,529	△ 9.9
過年度損益修正益	2,339	0	2,339	5,402	302	5,100	△ 3,063	△ 302	△ 2,761	△ 56.7
長期前受金戻入	47,606	9,324	38,282	40,713	2,744	37,969	6,893	6,580	313	16.9
その他特別利益	3,670	2,751	919	13,381	13,381	0	△ 9,711	△ 10,630	919	△ 72.6

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令和6年度			令和5年度			対前年比(R6-R5)			対前年度比 計 R6/R5 *100-100
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用 (B)	7,408,124	4,197,995	3,210,129	7,215,140	4,111,168	3,103,972	192,984	86,827	106,157	2.7
医業費用	6,914,212	3,905,835	3,008,377	6,713,828	3,813,267	2,900,561	200,384	92,568	107,816	3.0
給与費	4,321,833	2,374,964	1,946,869	4,141,435	2,305,855	1,835,580	180,398	69,109	111,289	4.4
材料費	912,073	563,980	348,093	918,253	571,916	346,337	△ 6,180	△ 7,936	1,756	△ 0.7
経 費	1,081,144	537,916	543,228	1,057,359	511,432	545,927	23,785	26,484	△ 2,699	2.2
減価償却費	546,003	391,270	154,733	560,783	400,331	160,452	△ 14,780	△ 9,061	△ 5,719	△ 2.6
資産減耗費	27,252	25,743	1,509	15,373	13,830	1,543	11,879	11,913	△ 34	77.3
研究研修費	25,907	11,962	13,945	20,625	9,903	10,722	5,282	2,059	3,223	25.6
医業外費用	277,889	170,392	107,497	282,667	172,016	110,651	△ 4,778	△ 1,624	△ 3,154	△ 1.7
支払利息及び企業債取 扱諸費	38,078	31,153	6,925	42,405	32,367	10,038	△ 4,327	△ 1,214	△ 3,113	△ 10.2
長期前払消費税償却	45,510	31,733	13,777	42,561	29,753	12,808	2,949	1,980	969	6.9
患者外給食材料費	1,571	1,571	0	1,980	1,980	0	△ 409	△ 409	0	△ 20.7
雑損失	192,730	105,935	86,795	195,721	107,916	87,805	△ 2,991	△ 1,981	△ 1,010	△ 1.5
訪問看護事業費用	179,984	120,568	59,416	170,555	110,215	60,340	9,429	10,353	△ 924	5.5
給与費	173,135	116,086	57,049	163,472	105,491	57,981	9,663	10,595	△ 932	5.9
材料費	45	45	0	41	0	41	4	45	△ 41	9.8
経 費	6,628	4,302	2,326	6,800	4,599	2,201	△ 172	△ 297	125	△ 2.5
研究研修費	176	135	41	242	125	117	△ 66	10	△ 76	△ 27.3
通所リハビリテーション事 業費用	32,945		32,945	27,183		27,183	5,762		5,762	21.2
給与費	30,015		30,015	24,309		24,309	5,706		5,706	23.5
材料費	1,181		1,181	987		987	194		194	19.7
経 費	1,686		1,686	1,778		1,778	△ 92		△ 92	△ 5.2
研究研修費	63		63	109		109	△ 46		△ 46	△ 42.2
特別損失	3,094	1,200	1,894	20,907	15,670	5,237	△ 17,813	△ 14,470	△ 3,343	△ 85.2
過年度損益修正損	450	0	450	866	287	579	△ 416	△ 287	△ 129	△ 48.0
その他特別損失	2,644	1,200	1,444	20,041	15,383	4,658	△ 17,397	△ 14,183	△ 3,214	△ 86.8
当年度純損益 (A)-(B)	△ 687,730	△ 555,912	△ 131,818	△ 231,390	△ 271,382	39,992	△ 456,340	△ 284,530	△ 171,810	197.2
当年度未処理欠損金	4,611,446	2,839,222	1,772,224	3,923,716	2,283,310	1,640,406	687,730	555,912	131,818	17.5
総収益対総費用比率 (A)/(B)	90.7	86.8	95.9	96.8	93.4	101.3	△ 6.1	△ 6.6	△ 5.4	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金+当年度純損益-その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 35

病 院 事 業 資 産

(単位：千円)

区 分 \ 年 度		令和6年度末 償却未済高			令和5年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産		7,575,216	5,672,598	1,902,618	7,431,729	5,578,890	1,852,839
有形固定資産	有形固定資産	7,132,503	5,332,715	1,799,788	7,015,812	5,257,003	1,758,809
	土 地	511,889	101,998	409,891	511,888	101,998	409,890
	建 物	4,919,656	4,058,837	860,819	5,017,275	4,195,386	821,889
	構 築 物	187,935	165,500	22,435	204,521	180,676	23,845
	器械及び備品	1,497,977	993,546	504,431	1,259,671	762,659	497,012
	車 両	9,621	7,409	2,212	10,303	6,868	3,435
	リース資産	2,875	2,875	0	7,074	7,074	0
	その他有形固定資産	0	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	2,550	2,550	0	5,080	2,342	2,738
	無形固定資産	1,231	523	708	1,371	523	848
	電話加入権	523	523	0	523	523	0
	ソフトウェア	0	0	0	0	0	0
	下水道利用権	708	0	708	848	0	848
	投 資	441,482	339,360	102,122	414,546	321,364	93,182
長期貸付金	71,940	35,970	35,970	64,880	32,440	32,440	
長期前払消費税	369,542	303,390	66,152	349,666	288,924	60,742	
流動資産		1,363,912	837,905	526,007	1,338,592	763,188	575,404
現金預金	現金預金	556,478	430,441	126,037	374,545	271,985	102,560
	未 収 金	776,321	398,120	378,201	936,178	482,845	453,333
	貯 蔵 品	31,031	9,266	21,765	27,694	8,183	19,511
	その他流動資産	82	78	4	175	175	0
	合 計	8,939,128	6,510,503	2,428,625	8,770,321	6,342,078	2,428,243

別表 36

病 院 事 業 負 債

(単位：千円)

(単位：千円)

年 度 区 分	令和6年度末 現在高			令和5年度末 現在高		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債	6,051,453	5,328,481	722,972	5,882,216	5,186,632	695,584
企 業 債	6,051,453	5,328,481	722,972	5,881,161	5,185,577	695,584
リース債務	0	0	0	1,055	1,055	0
流動負債	2,366,353	1,373,025	993,328	1,728,344	807,623	920,721
一時借入金	810,000	400,000	410,000	620,000	150,000	470,000
企 業 債	554,208	365,996	188,212	542,835	334,511	208,324
リース債務	1,055	1,055	0	1,808	1,808	0
未 払 金	722,557	446,378	276,179	299,989	170,159	129,830
引 当 金	259,851	145,819	114,032	244,521	137,486	107,035
その他流動負債	18,682	13,777	4,905	19,191	13,659	5,532
繰延収益	1,227,970	625,151	602,819	1,201,611	614,306	587,305
長期前受金	5,498,412	2,716,173	2,782,239	5,246,832	2,610,815	2,636,017
長期前受金収益化累計額	△ 4,270,442	△ 2,091,022	△ 2,179,420	△ 4,045,221	△ 1,996,509	△ 2,048,712
負 債 合 計 (ア)	9,645,776	7,326,657	2,319,119	8,812,171	6,608,561	2,203,610

別表 37

病 院 事 業 資 本 金

(単位：千円)

年 度 区 分		令 和 6 年 度 決 算 額			令 和 5 年 度 決 算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	固有資本金	28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
	出 資 金	1,023,861	471,147	552,714	1,023,861	471,147	552,714
	組入資本金	397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
	資 本 金 合 計 (イ)	1,449,347	884,100	565,247	1,449,347	884,100	565,247

別表 38

病 院 事 業 剰 余 金

(単位：千円)

年 度 区 分		令 和 6 年 度 決 算 額			令 和 5 年 度 決 算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	資本剰余金	2,455,451	1,138,967	1,316,484	2,432,519	1,132,727	1,299,792
	受贈財産評価額	51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
	寄 附 金	8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
	他会計負担金	1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
	補 助 金	393,359	383,150	10,209	393,359	383,150	10,209
	その他資本剰余金	186,415	59,656	126,759	163,483	53,416	110,067
	利益剰余金 (a+b+c-d)	△ 4,611,446	△ 2,839,222	△ 1,772,224	△ 3,923,716	△ 2,283,310	△ 1,640,406
	減債積立金 a	0	0	0	0	0	0
	利益積立金 b	0	0	0	0	0	0
	建設改良積立金 c	0	0	0	0	0	0
	当年度未処理欠損金 d	4,611,446	2,839,222	1,772,224	3,923,716	2,283,310	1,640,406
	(うち当年度純損益)	(△ 687,730)	(△ 555,912)	(△ 131,818)	(△ 231,390)	(△ 271,382)	(39,992)
	剰 余 金 合 計 (ウ)	△ 2,155,995	△ 1,700,255	△ 455,740	△ 1,491,197	△ 1,150,583	△ 340,614

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	△ 706,648	△ 816,155	109,507	△ 41,850	△ 266,483	224,633
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	8,939,128	6,510,502	2,428,626	8,770,321	6,342,078	2,428,243

別表 39

診療費未収金

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

弥栄病院								
年度	計		現年度分		滞納繰越分		不納欠損	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	1,694	34,962	479	9,526	1,238	25,945	23	509
令和3年度	2023	36,251	802	11,674	1,241	24,912	20	335
令和4年度	1836	36,245	607	9,910	1,229	26,335	0	0
令和5年度	1555	35,536	383	9,623	1,172	25,913	0	0
令和6年度	1499	32,564	317	7,682	1,216	27,368	34	2,486

久美浜病院								
年度	計		現年度分		滞納繰越分		不納欠損	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	1889	18,756	889	4,009	1,000	14,747	0	0
令和3年度	1996	19,873	971	5,037	1,025	14,836	0	0
令和4年度	2239	21,806	1,258	7,653	981	14,153	0	0
令和5年度	2206	20,633	1,199	6,344	1,007	14,289	0	0
令和6年度	1815	18,893	951	5,464	899	13,897	35	468